



東京八王子プロバスクラブ

創立1995年10月18日

プロバスだより

第157号

2008年12月11日発行

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

編集・発行：情報委員会

2008~09年度テーマ

『学びそして発信しよう、より豊かな地域社会を求めて』

- ・日時：平成20年11月13日（木）8:00～18:00
- ・場所：車中（八王子⇒お台場）
- ・出席者：出席：48名
- ・ご来賓：ございません。

1. 多村例会委員長



多村例会委員長の司会で野外例会を開会
秋晴れの中、バスは定刻通り出発しました。

2. 野外研修説明



橋本研修委員長から今回の研修の趣旨と車中の卓話の紹介が、本日のアーコンダクターでもあります吉田副委員長（写真左）よりコース・注意事項について説明がありました。

3. 矢島会長挨拶（写真）



皆様おはようございます。立冬も過ぎて朝晩寒い日が続いておりますなか、朝早くから大勢の会員の方々に御参加いただきまして大変有り難うございます。今日は先ほど委員長や案内人の吉田副委員長から細かな御説明がありましたように、若者を中心に、今や人気のスポットとして脚光を浴びておりますお台場を訪ねるということで私も楽しみにしております。その中で歴史に比べ普段何かと話題の少ない科学について、一日たっぷりと勉強したいと思っております。また、例会も車中の狭いなかでご不自由な事がが多いと思いますが、しばらくご辛抱いただきたいと思います。今日の例会のなかで先ほどもお話がございましたように、大野会員・橋本委員長からも今回の視察にちなんだ久しぶりのお話がいただけるとのことでございます。後ほど下田会員委員長からご紹介があると思いますが、今月の例会から新しくお仲間が一人お見えになりました。紹介者の大串会員のお世話で女性会員が1名増えます。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。今日は長時間の車中移動それから

バスに乗ったり降りたり、お世話をいたいた研修委員会の方々にはご苦労をおかけすると思いますが、会員の皆さんもどうぞ宜しくご協力をいただいて今日一日楽しい研修ができますようお願いしてご挨拶とさせていただきます。

4. 新入会員紹介

下田委員長：熊田眞瑜美（くまだ・まゆみ）様 *1 を紹介します。12月の例会で正式に御紹介しますが本日から仲間入りになりますので、ご本人に簡単な自己紹介をお願いします。

熊田会員：おはようございます。熊田眞瑜美でございます。もともとは、ハンドオルガンのデモンストレーターでしたが、2～3年前までは、ピアノの伴奏をしておりました。唯今は、コンサート中心のカンツォーネやシャンソンの伴奏をしております。どうぞ宜しくお願いします。

5. 議事

（1）幹事報告（矢崎幹事）

本日、熊田さんが入会いたしましたので会員総数は、1名増えて72名（内女性は10名）となりました。12月例会ですが、サロンの予算承認に係る、臨時総会を開かせていただくため、通常12:30開会を、12:00とさせていただきます。お間違いなきようお願いします。なお12月例会で新年会の会費（5,000円）も徴収させていただきます。最後に、いちょう祭りの件ですが、11月22～23日と開催されます。例年のごとく、いちょう祭り実行委員会よりお手伝いの要請がありました。澤渡地域奉仕委員長より各委員長宛に協力要請をさせていただきました。尚、今年も、通行手形の車内販売をします。40枚（1枚500円）を皆様の御協力で完売したいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。

（2）委員会報告

・例会委員会（多村委員長）

本日の出席者は、48名出席率66.6%です。

・情報委員会（長谷川委員長）

特にございません

・会員委員会（下田委員長）

先ほどお話したとおりです。

・地域奉仕委員会（澤渡委員長）

サロン関連：来年2月からのサロン実施に向けて準備をすすめていますが、11月理事会において各委員会に対し、それぞれの役割分担について、御協力の要請をしました。詳しくは、各委員会委員長から話があると思いますので、どうかサロン運営がスムーズに運びますよう各委員会所属の皆様にはご協力をお願い致します。

いちょう祭り関連

① 11月22日23日のいちょう祭りについては各委員会から3~4名のご担当者を選出していただき、その結果20名の皆様に御協力いただくことになりました。誠に有り難うございました。当日の仕事は、主に受付案内係及び会場内見回りということになりますが、朝・夕非常に冷えると思いますので、防寒、防雨対策くれぐれもよろしくお願い致します。また昼食は自主的に返上いたしましたので各自自前でお済ませてくださいようお願い致します。

② 例年通り40枚の通行手形を引き受けることで、祭りに協力することになりました。今日この場で販売させていただきますので、御協力のほど宜しくお願ひいたします。価格は、一枚500円です。昨年は、600円で手数料として当クラブに10%の戻しがありましたが、今年度は値段を100円下げましたのでコミッショングゼロです。御了解ください。

6. 同好会報告

・歴史の会（荒代表）

第14回歴史の会のご案内です。テーマは「甲州街道と宿場」ということで、今回は多摩地域の歴史に造詣の深い外部講師の馬場善信先生をお招きし、日本橋から八王子を経て下諏訪までの甲州街道の歴史をお話いただける予定でございます。是非御参加ください。日時は、来年1月15日（木）午後3時~5時 場所はクリエイトホール第7会議室です。席数は35名です。これが終わりましたら新年会を兼ねて日本海庄屋で、5時半から開催します。申し込み用紙が入っておりますので、御記入いただき御返事いただければありがたいと思います。 第13回歴史の会『陣場街道を往く』は18日に開催です。



速報：11月18日 石仮の前で歴史の会メンバー

・お茶の会（中野代表）

11月は、諸般の都合で中止させていただきます。12月は、20日午後3時から行います。終了後食事会を行います。車の方は御遠慮ください。

・ゴルフ愛好会（小林貞男代表）

来年の1月は、9日に実施します。

・囲碁クラブ

10月17日~18日 陣谷温泉で開かれました囲碁大



会時の皆さんです。 (写真中央は矢島会長)

優勝者は吉田信夫会員・準優勝者は浅川文夫会員でした。
(以上、写真提供：下山副会長)

卓話

「お台場の歴史」

話し手 大野会員（写真）

幕末動乱期、日本の各港の開放を迫る西欧列強、その背景には、スペイン・ポルトガルによる大航海時代（15~17世紀）がありました。



コロンブスのアメリカ大陸発見、マゼランによるマゼラン海峡の発見。そして大航海時代に遅れをとったイギリス・オランダ・ロシア・アメリカがアジアへの進出を企てるようになると、それぞれの国の思惑は、香辛料の貿易であったり、侵略による奴隸労働の確保、捕鯨船の食料・飲料水の確保等ありました。

嘉永6年（1853）6月、ペルー来航により海防化の必要に迫られた幕府は、以前から海防についての建議を提出していた、伊豆国韋山代官江川英龍（ひでたつ）…通称 江川太郎左衛…等に江戸内海砲台築造計画を命じ、第1第3台場の建築を開始した。この江川英龍は八王子とも縁があり、長房・古城付近の幕府直轄の御林を管理もしていました。お台場を建造するに当たり、木材・埋立土・石材を近郊から調達したが、木材を多摩から求めたことに注目したい。後で、卓話をされる橋本委員長のお父様であり、絹の道の名付け親でもあります橋本義夫さんの話によりますと、台場建設の杭木として使用する赤松は、鎌水御殿山界隈の幕府直轄の

御林を伐採し、筏を組んで、急流の多摩を避け、相模川に流してから品川に運搬したのではないかということです。埋立ての土は品川御殿山から、石材は伊豆半島周辺で採石された安山岩を主に用いて築造されています。調べていくうちにお台場と八王子との関連もあることが分かりました。江川は嘉永7年7月に砲台に載せる大砲を鋳造するために垂崎に反射炉を建築するが、その完成を待たず、安政2年（1855）55歳で死去されました。

その後、お台場の大砲は実戦として一度も火を吹くこともなく、安政5年日米通商条約を結ぶことになり、砲台としての役目は終わりました。

卓話

「青函連絡船の歴史」

・・・思い出を交えつつ

話し手 橋本研修委員長（写真）

大学進学のため上野発の急行列車で夜間に海峡を渡ったのが初めての連絡線乗船（昭和28年4月初め）であった。朝鮮戦争



の余波で、津軽海峡に漂流してくる機雷のため、昭和26年より夜間運行再開後幾日も経たないとき。就職も赴任地が札幌だったので、多年にわたり、毎年幾度か海峡を行き來した。洞爺丸や第Ⅰ世代の羊蹄丸・摩周丸・大雪丸・昭和39年以降に就航した第Ⅱ世代の羊蹄丸・摩周丸・大雪丸、新たに命名された津軽丸・八甲田丸・松前丸・十和田丸などに乗船。

洞爺丸などの沈んだ15号台風のときは札幌にいた。船の博物館に係留されている羊蹄丸の中には、青森駅のそばの市場の風景を展示。私もそこで闇米やリンゴを買って帰省したことがある。畳の敷かれた船室に早くたどり着き、よい場所で横になるのがコツで、長いホームを重い荷物を抱えて走った。第Ⅰ世代の3等船室は船底のかんじで音もうるさかったが1964年以降投入された新造船では一般客室もかなり快適になった。夏の漁り火・津軽海峡冬景色も美しかった。食堂で食べたイカそうめんなどなつかしい思い出。

飛行機で東京に出張するようになったのは、1970年代に入ってからで、それまでは貧乏公務員が20時間以上かけて札幌-八王子を往復した。就職した頃の札幌-羽田間の航空運賃は鉄道と比べ高く月給並みだった?と思う。明治期の富国強兵、北海道の地下資源を本州に大量に運搬する

車両を本州と北海道で効率よく運搬するため等の理由で開業した連絡船は、多くの人々の喜怒哀楽や思い出とともに歩んできたが、開業以来80年でその役割を海底トンネルによる鉄道に引き継いだ。今や、航空機の発達や便数の拡大により、主力は航空機が担うようになってきた。時代の流れといえばそれまでだが、一時代の壮絶なドラマであった。

写真で見る野外研修の一日

1. 船の科学館

展望台から、初代南極観測の宗谷と卓話にも出てくる羊蹄丸がみえる



例会委員長もガイド役



深海探査船に乗り込む荒会員



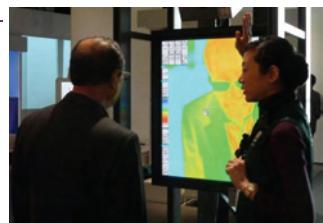
潜水艦の操縦をする岡本会員



2.昼食 シーサイドレストラン 海王

中華風ランチ弁当

3.日本科学未来



人体熱測定の説明を聞く会員

左は、本館のシンボル 世界初の球体ディスプレイの Geo-Cosmos 地球の表情が時間で変化します。

閉会（下山副会長）

研修委員会の皆様に感謝いたします。私も未来館で、時間を忘れて今年のノーベル物理学賞の記事を見ていきましたら、何組の人が探しに来てくれ、それがあらたな迷子の原因になったようでした。そこで、はたと気づきました。なるほどこれが、【自発的対称性の破れ】なのだと。

おわり

投稿

『人権擁護委員の活動について』 廣瀬智子会員

今年は世界人権宣言が国連総会で採択され60周年を迎えました。昭和23年第3回総会時に於てでした。人類共通の基本的人権や、自由で平和な世界をという理念によるものです。第1回総会で問題提起され、人権担当のアメリカ代表エレノア・ルーズベルト夫人が中心になって起草作業が進められ、提出され、採択されました。

司会する筆者

今年、世界のあちこちで記念事業が実施されます。我が国では、12月6日人権シンポジウムが予定されています。

世界人権宣言より1年半前に公布された日本国憲法においては、既に、人権を規定し、基本的人権を保障することこそが我が国の責務であることをはっきり示しています。

続いて、人権擁護委員制度が昭和24年制定されました。世界人権宣言や憲法の精神に則り、基本的人権の擁護と、人権思想の普及高揚をはかることを使命として発足しました。以来60年人権擁護委員の活動が実施されています。まさに今年は、人権に関する重要で記念すべき年にあたります。

第56回全国人権擁護委員連合会総会が、7月24、5日の2日間、東京会館に於て、世界人権宣言60周年、人権擁護委員制度60周年として実施されました。「育てよう一人一人の人権意識」一思いやりの心・かけがえのない命を大切にーがタイトルでした。（右写真）

当日は、最高裁長官・日本弁護士会会长・都知事を始め、法務大臣・法務省人権擁護局長など多くの来賓の出席がありました。この会の担当が東京都人権擁護委員連合会でしたので、司会の役（上写真）が私にまわってきました。2日間緊張の連続でした。各都道府県の代表委員約400名の参加となりました。

東京都人権擁護委員連合会は、区部・島しょ（東京法務局管内）多摩西（八王子・西多摩法務局管内）多摩東（府中法務局管内）の三協議会で成り立っています。私たち多摩西協議会は17市町村から成り、約90名の委員が所属していて、その会長を務めています。

日常的な主な活動としては、人権啓発・人権相談・人権救済などがあげられます。一例として、小中学校への訪問、小中学生の人権作文やメッセージの募集・発表、SOSミニレタ

ーの配布やレターの受信送信、子どもの電話110番、女性の人権ホットライン、高齢者施設へ出向くなど社会的に弱い立場の人々への支援を主に行ってています。映画会・講演会なども欠かせません。そのほかに、八王子独自としては、14名全員の委員が、各種の相談活動をはじめ、フラワーフェスティバル・いちょう祭りなどの諸行事に参加して街頭啓発等を行っています。それらを通して社会の人々に人権擁護委員を知ってもらう活動をし、人権思想の普及・啓発の機会になればと願っています。11月、12月には市内の小学生たちによる「わたしの大切な人」というテーマの画をデザインしたラッピングバスが、路線バスとして走ります。都内で4校です。



私たち人権擁護委員は、「人権」の言葉や考え方が不可欠な価値だという認識を深めたり根付かせたりするため、啓発・普及につとめてきました。しかし現代社会の風潮、社会構造や価値観の複雑化・多様化等なかなか困難な問題があります。こうした人権課題は多々ありますが21世紀は「人権の世紀」にしようというかけ声が、かけ声だけに終わらぬよう、実効性のある活動につとめていかなければなりません。微々たる力ではありますが、皆様方のご理解とご指導ご協力をいただきて、また前に進む元気を出さなければと思っています。

（写真：筆者提供）

例会補遺

特別勉強会の件（橋本研修委員長）

10月23日、場所：エルシィにて、八王子市役所市民活動推進部長の峯尾常雄様（写真：提供下山副会長）をお招きして

『ソフト面から見た八王子のまちづくり』のお話を聞くことができました。多数の会員がお集まりいただき、質疑など活発に出まして大変有意義な勉強会でした。ご協力ありがとうございました。

編集後記：お台場の新名所アクアシティの帰りの集合場所を八王子の『金太郎』と間違えた人が一人いましたが、全員無事、楽しい一日でした。何時までも笑いが絶えませんでした。